

OCP-IP、日本語ウェブサイトを立ち上げ

新規ウェブサイトにより、メンバー企業は日本語で資料の閲覧が可能に

Open Core Protocol International Partnership (OCP-IP) は、本日、日本語版ウェブサイトを立ち上げたことを発表しました。この新規ウェブサイトにより、日本からアクセスした閲覧希望者は日本語でOCP-IPの情報・資料を利用することが可能になり、翻訳の手間が省けます。新ウェブサイトの立ち上げには、OCP-IPの Governing Steering Committeeメンバーである東芝が協力しました。

OCP-IP 会長の Ian Mackintosh 氏は次のように述べています。「日本での OCP に対する関心は高く、東芝セミコンダクター社、NEC エレクトロニクス、川崎マイクロエレクトロニクスなどの新規加入に伴い、OCP-IP では、日本のメンバーに価値ある OCP に関する情報を日本語で届ける必要性を認識し、今回の決定に至りました。今回の例に見られる通り、OCP-IP では急速に増えつつあるメンバーの皆様が必要とするツールとインフラストラクチャーを提供しております。自国語での閲覧が可能になることにより OCP 標準の国際化は進展し、メンバーと閲覧者の双方が効率的・効果的に業務を遂行できるのです。」

OCP-IP メンバーは、トレーニング、サポート、ソフトウェアツール、ドキュメントを無償で利用することができるため、システム・オン・チップ (SoC) 設計の業務に注力することが可能になります。OCP-IP の強力な無償インフラを活用することにより、自社で独自開発した標準やサポートツールの設計、文書化、トレーニング、改訂を行う必要がなくなるため、余分な作業に費やされていた重要なリソースを設計作業に振り充てることができ、多額のコスト節減が実現できます。

東芝セミコンダクター社設計技術技師長の吉森 崇氏は次のように語っています。「今後のSoC産業にとって標準化の持つ意義は大きいと思います。標準Platform無くして大規模SoCの開発は成り立たないからです。今回のOCP-IP Website 日本版は日本国内へのOCP-IP活動の発信源として大きな役割を果たすと思います。当社は、この日本語サイトを実現するにあたってOCP-IPと協力することができ、喜ばしく思っております。」

OCP-IP 日本語ウェブサイトは、www.ocpip.org/japanese をご覧下さい。

OCP-IP について

2001 年に発足した OCP International Partnership Association, Inc. (OCP-IP) は、完全なソケット標準としての Open Core Protocol (OCP) を推進・サポートし、相互運用可能なバーチャルコンポーネントの早期構築と統合の実現に貢献しています。OCP-IP の Governing Steering Committee メンバーは、ノキア社 (NYSE:NOK)、テキサス・インスツルメンツ社 (NYSE:TXN)、ST マイクロエレクトロニクス社

(NYSE:STM)、東芝セミコンダクター社 (東芝アメリカ電子部品社 (TAEC) などを含む)、ソニックス社です。OCP-IP は非営利の業界団体で、初の完全サポート・公開ライセンスのコアセントリック・プロトコルを提供して、システムレベルの統合要件に完全に対応しています。OCP は、IP コア再使用の煩雑さを解消することにより、SoC 設計に要する設計時間・リスク・製造コストなどを軽減します。VSIA (Virtual Socket Interface Alliance) は OCP ソケットを推奨しており、OCP-IP は VSI アライアンスの Adoption Group です。関連情報およびメンバーシップの詳細については、OCP-IP のウェブサイト (www.OCP-IP.org) をご覧下さい。

注記：すべての商標およびサービス・マークは、その各々の持ち主の所有物です。

OCP-IP Association, Inc.
5440 SW Westgate Drive, Suite 217, Portland, Oregon 97221 USA
Tel: 1-503-291-2560 Fax: 1-503-297-1090
E-mail: admin@ocpip.org
www.ocpip.org